



JVから一億八千万円寄付されて 市民は当然と思うだろう

柴橋市長との懇談で 松原のりかず発言

4月10日、無所属クラブと柴橋市長との懇談会が開かれました。松原のりかずは岐阜県古田知事の実行したように、岐阜市での前市政の大掃除をお願いしました。そして、平成18年、細江氏の政治資金団体が岐阜市の指定金融機関代表から100万円の寄付を受けている事実の質問について、その思い出を柴橋市長に語りました。

4月27日起工式とされる新市庁舎建設について、その寄付募集記事については、途中で辞退した清水JVより、約1億8千万円高額入札した大日本土木JVから1億8千万円の寄付を出して頂いても、市民は「違和感は覚えないのでは」と所見を述べさせて頂きました。

同席された田中成佳議員からは「18階のそんな贅沢な市庁舎建設で、寄付を募るなどそんな事、せんでも良い」「内容を見直すべき」と厳しいご指摘もありました。

細江氏の市長選挙対策ベツタリ市政の改善を指摘

細江氏の市長選後の合併課題は柳津町が合意して、皮一枚でつながりました。その後、柳津地区への税金の投入が著しい。3月議会前に柳津地区の公民館7館を視察した現状を柴橋市長にお話しました。

当初、視察を月曜日に予定したら「月曜日は休館日ですが、良いですか？」と聞かれて火曜日に変更しました。しかし、火曜日の当日、7館全てが未使用、どこも使われていませんでした。冷暖房付の新体育館建設を行い、柳津地区公民館は7館が放置されている。他の49地区の多くは、公民館は小学校に隣接する1箇所だけ。地区間でのバランスを欠いた税配分は「細江市長選挙対策」と言われてもしかたがない。

柳津の道の駅の不自然さや、長良川の年2回の花火大会よりも多額予算が支出される「柳津地区のお祭り」予算の不均衡さ。住宅建設可能地区の公民館は廃止・売却されるように提言させて頂きました。新体育館をビルドするだけで、公民館のスクラップを放棄した施策と指摘させて頂きました。道の駅の人件費を削減し、無人の防災倉庫等への活用も提案させて頂きました。柳津支所に隣接する2市民会館の整理も必要。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖の橋町1-21 でんわ 253-2500

役割は古田知事のケース同様

柴橋市長に求められる 前市政の点検・改善

梶原県政の後に古田現知事は岐阜県政を担われる事になりました。就任後しばらくして、県庁での裏金問題が表面化しました。報道陣の前で幾度も陳謝される姿には、前知事の行政とはいえ、陳謝は現知事の役目でもあり、逃れ様の無い首長の責任を見た思いでした。順調に移行したかに見えた県政でしたが、古田知事の役目は「梶原県政の大掃除」として始まり、しばらく続く事になりました。

「16年間の細江市政しか知らない職員」も存在しますが、上松、蒔田、浅野市政も知っている職員も、そして市民も存在しています。細江市政に「17年目が無かった」理由は、市民がそれを望まなかったからです。柴橋市長の対立候補（細江市政を継承表明）は大敗。柴橋市長の任務は、「16年間の細江市政の大掃除」からと思えます。

前川喜平さんへ岐阜市議会意見書（否決）を送付

岐阜市議会3月議会で否決された意見書「教育への不当な介入の存否を明らかにし、**不当な支配に服さない教育を求める**」を前文科省事務次官の前川喜平さんへ送付させて頂いた。市議会終了後、国会では野党が名古屋市に「教育への不当な介入」経過の説明を求め、河村名古屋市長（池田衆議員・自民党文科部会長代理の対応を批判していた）が説明に上京されるとの報道がされました。

名古屋市をはじめ全国の自治体が「教育への不当な介入」への危機感を共有し始めていると思われます。「否決された意見書」送付に当たっては、否決表明された会派、議員名も前川さんへお知らせしました。森友・加計問題の経過は、時の政権に阿る官僚の姿を露呈しました。しかし、問題の根本は理不尽な政治を行なう政治家の方に、より重くあるのでは・・・。



松原のりかず
☎058-253-2500